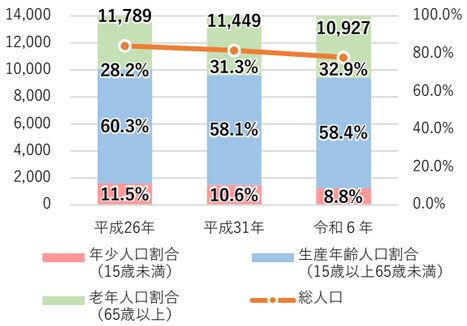
防災都市づくりの取組内容

大宮中地域

【地域特性】

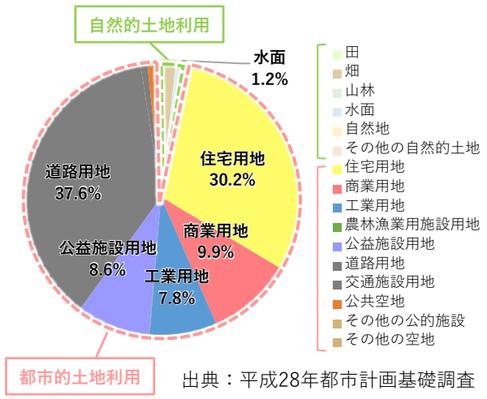
大宮中地域は、富士宮第二中学校と大富士中学校の学区の一部を地域とし、富士山本宮浅間大社と富士宮駅を中心として発展した中心市街地と、市街地縁辺部の住宅地によって構成されています。

【人口動向】



出典：富士宮市住民基本台帳（各年１月１日調査）

【土地利用現況】

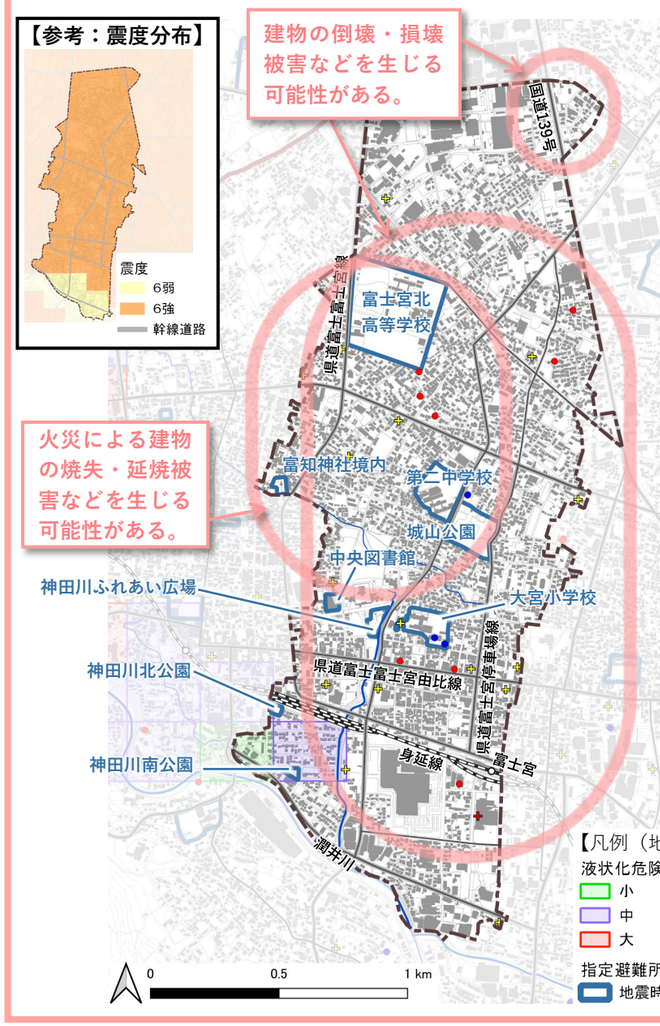


出典：平成28年都市計画基礎調査

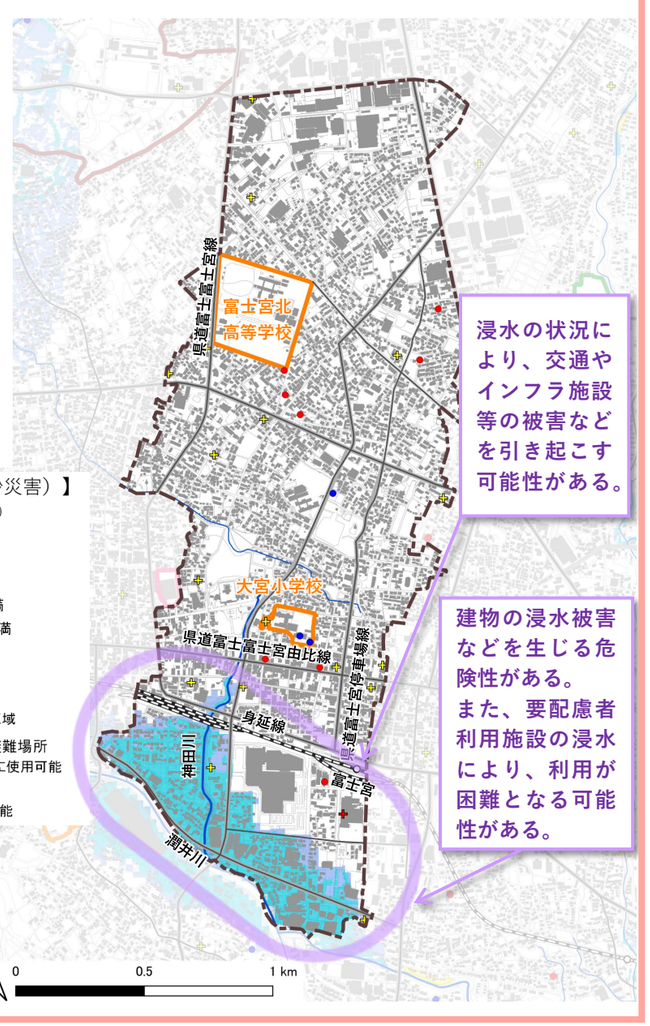
【避難場所】

避難場所	種別	対応災害		
		地震	洪水	土砂
第二中学校	指定緊急避難場所（指定避難所を兼ねる）	○	-	-
富士宮北高等学校		○	○	-
大宮小学校		○	○	-
城山公園	指定緊急避難場所	○	-	-
神田川ふれあい広場		○	-	-
神田川南公園		○	-	-
神田川北公園		○	-	-
中央図書館		○	-	-
富知神社境内		○	-	-

■地震災害に関する危険性（大宮中地域）



■水害・土砂災害に関する危険性（大宮中地域）



【災害危険性と取組内容】

大宮中地域は地震災害及び水害による災害危険性があり、地域内には広く建築物が分布しているため、地域全域において建築物の安全性の確保や避難しやすい環境の形成などの取組を推進していきます。

地震災害

ハザードの存在	災害危険性	取組内容
地域のほぼ全域に震度6強の範囲が分布している。 また、地域南西部の一部に液状化可能性（中・小）の範囲が分布している。	建物の倒壊・損壊や人的被害を生じる可能性がある。	**・空き家の除却の促進 ・建築物の耐震性向上、建替え ・建物密集地におけるオープンスペースの確保、避難しやすい環境整備**
	火災による建物の焼失・延焼や人的被害を生じる可能性がある。	**・建築物の不燃化 ・空き家の除却の促進 ・建物密集地におけるオープンスペースの確保、避難しやすい環境整備**
	緊急輸送路の被災などによる道路不通時には、救急・物資輸送・復旧活動などが停滞する可能性がある。	**・緊急輸送路の整備、橋梁などの耐震性向上 ・沿道建築物の耐震性向上、狭あい道路の拡幅 ・各人の避難計画の検討**
	避難施設が倒壊などにより活用できない可能性がある。	**・避難施設の耐震性の確認・向上**

水害

ハザードの存在	災害危険性	取組内容
地域南端部の潤井川周辺一帯に浸水域が分布している。	建物の浸水被害を生じる危険性がある。	**・気象情報の入手、各人の避難計画の検討、浸水前等の早い段階での避難 ・浸水対策の検討・整備**
	浸水の状況により、交通やインフラ施設等の被害などを引き起こす可能性がある。	**・浸水前等の早い段階での避難 ・避難方法（垂直避難含む）の周知 ・各人の避難計画の検討 ・浸水対策の検討・整備**
	避難施設が遠い場合には、迅速に避難できない可能性がある。	**・気象情報の入手、各人の避難計画の検討、浸水前等の早い段階での避難 ・避難方法（垂直避難含む）の周知 ・身近な一時避難場所の確保 ・避難体制、高齢者などの避難支援**
	要配慮者利用施設の浸水により、利用が困難となる可能性がある。	**・水害リスクの周知 ・各事業者の避難計画の検討**

土砂災害

ハザードの存在	災害危険性	取組内容
土砂災害警戒区域は無い。	―	―

この他、避難場所の快適性向上や地域の防災力向上など、各災害に共通する取組も推進していきます。